



2010年中日薬膳学術シンポジウム 並びに国際薬膳師(士)資格証書授与式が行われました



去る2010年5月27日に北京中医薬大学・中国薬膳研究会は本草薬膳学院・日本国際薬膳師会・本草薬膳研究会・東京栄養士薬膳研究会・日本国際中医師会との共同で北京中医薬大学のキャンパスにおいて「2010年度中日薬膳学術シンポジウム並びに国際薬膳師(士)資格証書授与式」が行われました。

北京中医薬大学と本草薬膳学院は2009年に提携校として契約した際に、中医学に基づいた薬膳の普及と発展のために中国と日本が互いに協力し合い、これから新しい活動を始めていこうという提案がありました。この提案は中国薬膳研究会より高い賛同をいただき、また日本の多くの中医学、薬膳学団体にも積極的な支持をいただきました。そして、今回のシンポジウムの開催を企画するに至りました。



開幕式に中国教育部国際交流司・国家中医薬管理局国際交流司の代表がご臨席しました。北京中医薬大学高思華学長、中国薬膳研究会周文泉会長、本草薬膳学院顧問・日本国際薬膳師会鷺見美智子副会長が大会の開催に祝辞を述べました。本草薬膳学院がここ数年正式に出版している『実用中医学』『実用中医薬膳学』『薬膳の基本』『薬膳素材辞典』『中医専門用語辞典』、そして日本国際薬膳師会の五周年記念行事のために作った『記念誌』『薬膳レシピ集』と日本の伝統工芸品である「赤富士」「桜」を北京中医薬大学と中国薬膳研究会にそれぞれ別々に贈呈しました。

今回のシンポジウムのテーマである『未病医学における薬膳の作用』について中国で最も早いうちに薬膳を提唱してこれ今年で78歳になられる翁維建教授が『薬膳は治未病における応用』と題した特別講演を行いました。また、北京中医薬大学周儉教授が『薬膳と保健』、中国薬膳研究会副秘書長の羅増剛教授が『四季養生における薬膳の応用』と題したそれぞれの講演が行われました。日本側は日本国際薬膳師会副会長・東京栄養士薬膳研究会会長である管理栄養士の海老原英子先生が『現代栄養学と中医薬膳学併用の考察』を講演し、日本国際中医



師会会長・ルウ研究所所長である工学博士の石塚庸三氏が『うろこからコラーゲン』と題した講演をしました。講演をされた先生方は中国と日本の中医薬膳学、栄養学と薬膳学、季節と薬膳の関係などの内容について講演し、薬膳学は今のこの時代に健康維持にとっても重要な役目を果たしていると強調しました。

国際薬膳師(士)資格証書授与式において、中国薬膳研究会副会長である高普教授が2010年度の国際薬膳師資格合格者を発表しました。引き続き中国薬膳研究会周文泉会長が出席され合格者1人1人に「国際薬膳師資格証書」を授与しました。11期卒業生の石川宏子さんが合格者を代表し、感謝の言葉を述べました。北京中医薬大学は薬膳分野も重視し、キャンパスに「薬膳私房菜」という食堂を設置しています。オーナーチェンジで営業していなかったため、学生食堂で薬膳食事会を開きました。

今回北京中医薬大学・中国薬膳研究会と共同で開催した「中日薬膳学術シンポジウム」を通じて、私たちが日本での薬膳学活動をさらに促進し、国際交流をより深く継続して行きたいと思えます。



2010年度『国際薬膳師』資格認定試験合格者名簿(敬称略)

- | | |
|-------------|---|
| 東京都 | 望月愛子 橋本孝子 小尾佳世 藤田有美 嶋内 幸 高橋いずみ 高橋しおり 鎌田由香里 川口結実 富貴千代 吉沼直子 上野あき 葭谷麻利子 角 博子 泉 京子 坂本陽子 藤田真由美 奈良理香子 大西眞弓 林律子 佐藤恭子 大須賀道子 石河三恵子 富重慶子 松尾貴代 門田光子 青柳ひろ美 福田陽子 |
| 神奈川県 | 田辺路子 藤丸美哉 毛呂満寿美 萩原郁子 中村和義 若原さや子 |
| 千葉県 | 石川宏子 清水由紀子 佐藤忍 |
| 埼玉県 | 藤井真紀 塩谷三雅 山上嘉江 鈴木理恵 今田朋美 市川君子 羽鳥三枝子 宮崎さなえ 中島和枝 佐藤かおり |
| 大阪府 | 岡本羽加 梅宮光子 渡辺真里子 |
| 滋賀県 | 望月恵子 鉤寿子 |
| 静岡県 | 杉山智香 |
| 福岡県 | 田中真純 |
| 愛知県 | 岩瀬早苗 右高啓子 菅原紀子 |
| 茨城県 | 栗林雅子 |
| 富山県 | 浜西陽子 |
| 秋田県 | 加藤映美 |